

平成14年10月2日
環 境 局

黒須田川流入水路等におけるダイオキシン類対策にか かる調査結果について

1 黒須田川流入水路等の水質・大伸建設下流で大幅改善

- ・ 8月14日(水)に、横浜市と共同で黒須田川流入水路等の河川水に係る2回目のダイオキシン類調査を、川崎市域4地点及び横浜市域3地点で行いました。その速報値が得られましたので報告します。
- ・ その結果は別紙資料1に示すとおり、川崎市域の4地点では、0.42～7.9pg-TEQ/L、横浜市域の3地点は、0.21～0.52 pg-TEQ/Lで、水質の環境基準(1 pg-TEQ/L)を下回ったのは、川崎市域の1地点及び横浜市域の全地点です。
- ・ 1回目(4月30日実施)の調査結果と比較すると、大伸建設(株)王禅寺工場より下流では、大幅に改善されております。この改善は、平成14年6月17日～24日にかけて実施した大伸建設(株)王禅寺工場直下の流入水路の汚泥(底質)を除去した結果であると思われます。
- ・ なお、川崎市域の3地点では引き続き環境基準を超えていましたので、今後も調査を継続してまいります。
- ・ また、同日実施した、大伸建設(株)王禅寺工場NO.3排水口からの排水の調査結果は、5.1 pg-TEQ/Lで、市条例に定める排水の規制基準(10 pg-TEQ/L)を下回っていました。

2 麻生区の環境大気・全ての地点で環境基準に適合

- ・ 8月6日(火)～7日(水)に実施しました王禅寺処理センター周辺のダイオキシン類大気環境調査のうち、4月と7月に実施した詳細調査と同一の10地点における速報値が得られました。
- ・ その結果を4月と7月の結果と併せて、別紙資料2に示します。
- ・ 今回の結果は、0.070～0.53pg-TEQ/m³であり、全地点で、大気環境

基準（0.6pg-TEQ/m³）を下回っており，7月の結果より低濃度となっていました。

問い合わせ先

公害部水質課（TEL 044-200-2519）

大気課（TEL 044-200-2515）

化学物質担当（TEL 044-200-2532）